

オキナワウラジロガシ

か めい
科名 ブナ

べつ めい
別名 ヤエヤマガシ

がく めい
学名 Quercus miyagii



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 あまみ おおしま とくのしま おきなわほんとう くめじま
奄美大島、徳之島、沖縄本島、久米島、
いりおもてじま いしがきじま
西表島、石垣島

は かたち
葉 の 形 ちょうだ えんじょう ひしんけい ひしんけい
長楕円状被針形、被針形

は ふち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゆるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きふ がた
葉 の 基部 くさび形

み しゆるい けんか
実 の 種類 堅果

はな がくいろ
花・萼色

せつ せい
説 明 山地の良く肥えた場所に生育し、高さ20m、直径1mを超える大きな木になります。樹皮はふつう緑灰黒色で皮目が目立ちます。葉の表面は光沢があり、裏面は白色または灰緑色で毛がまばらに生えており、長さ8-18cm、幅2-4cmです。葉は革質で広被針形、実は日本のカシの仲間では一番大きく、直径2.5cmにもなります。